



News Release

2023年5月25日
NITE（ナイト）
独立行政法人製品評価技術基盤機構
製品安全センター大阪本部

夏に急増するのは熱中症だけではありません！ ～エアコン・扇風機の火災事故に注意～

1. 事故発生状況

NITE（ナイト）に通知された製品事故情報^{※1}において、エアコン^{※2}及び扇風機^{※3}の事故は、近畿地方2府4県（滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県）では、2018年度から2022年度までの5年間に合計82件（エアコン：65件、扇風機：17件）ありました。

（※1）消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故（ヒヤリハット情報（被害なし）を含む）。

（※2）ルームエアコン（室外機、室内機いずれも含まれます）。

（※3）サーキュレーターや電気冷温風機、電源がソーラー発電・乾電池・USB端子により給電するもの（携帯用扇風機など）は除きます。

1-1. 事故発生状況

(1) 年別 府県別 事故発生状況

表1 年度別 府県別 事故発生件数^{※4}（単位：件）

		滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山	合計
事故発生年度	2018年度	3 [1]	7 [7]	6 [5]	2 [2]			18 [15]
	2019年度	3 [3]	2 [2]	8 [7]	3 [2]	1 [1]	1 [1]	18 [16]
	2020年度		3 [2]	8 [6]	5 [5]			16 [13]
	2021年度		1 [1]	7 [6]	3 [3]			11 [10]
	2022年度	1 [1]	2 [2]	7 [7]	8 [8]		1 [1]	19 [19]
合計		7 [5]	15 [14]	36 [31]	21 [20]	1 [1]	2 [2]	82 [73]

（※4） [] は火災件数。

(2) 府県別 被害状況

表 2 府県別 被害状況^{※5} (単位：件)

		滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山	合計
人的被害	死亡		1 [1] (1)	1 [1] (1)				2 [2] (2)
	重傷			(1)	1 (1)			1 (2)
	軽傷	1 (1)		4 [3] (6)				5 [3] (7)
物的被害	拡大 ^{※6} 被害	4 [3]	12 [11]	22 [22]	17 [17]	1 [1]		56 [54]
	製品破損	2 [2]	2 [2]	9 [5]	3 [3]		2 [2]	18 [14]
合計	事故件数	7	15	36	21	1	2	82
	火災件数	[5]	[14]	[31]	[20]	[1]	[2]	[73]
	被害者数	(1)	(1)	(8)	(1)	(0)	(0)	(11)

(※5) []は火災件数、()は被害者数。物的被害（製品破損または拡大被害）があった場合でも人的被害のあったものは、人的被害に区分している。また、人的被害（死亡・重傷・軽傷）が複数同時に起きている場合は、最も重篤な分類で事故件数をカウントし、重複カウントはしていない。

(※6) 製品本体のみの被害（製品破損）にとどまらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすこと。

(3) 製品別 府県別 事故発生状況

表 3 製品別 府県別 事故発生件数^{※7} (単位：件)

	滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山	合計
エアコン	3 [2]	13 [12]	29 [25]	18 [17]		2 [2]	65 [58]
扇風機	4 [3]	2 [2]	7 [6]	3 [3]	1 [1]		17 [15]
合計	7 [5]	15 [14]	36 [31]	21 [20]	1 [1]	2 [2]	82 [73]

(※7) []は火災件数。

2. 事故事例の概要

■エアコンの事故

事故発生年月 2019年8月（大阪府、年齢・性別不明、拡大被害）

【事故の内容】

エアコンを使用中、当該製品内部を焼損し、周辺を汚損する火災が発生した。

【事故の原因】

事故原因は、エアコンのファンモーターのリード線接続部分に、エアコン洗浄液等の電気を通しやすい物質が付着・浸入し、さらに当該製品内部で発生した結露がリード線接続部分に回りこむことによって、トラッキング現象が生じ、発煙・出火に至ったものと考えられる。

■扇風機の事故

事故発生年月 2019年8月（滋賀県、80歳代以上・女性、製品破損）

【事故の内容】

扇風機を使用中、当該製品を焼損する火災が発生した。

【事故の原因】

扇風機の長期使用（40年以上）により、モーター運転用コンデンサーの絶縁性能が低下して内部短絡が生じて、発煙に至ったものと推定される。

3. エアコン、扇風機の事故の再現映像について

エアコン、扇風機に関する製品事故の再現映像及び静止画をご希望の場合は、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

なお、映像等をご使用の際、クレジットは「製品評価技術基盤機構+NITE ロゴ」としてください。

（本件に関するお問い合わせ先）

〒559-0034 大阪府大阪市住之江区南港北1-22-16

独立行政法人製品評価技術基盤機構 製品安全センター

製品安全広報課 課長 宮川 七重

担当者：製品安全広報課 岡田 大樹

電話：06-6612-2066 mail：ps@nite.go.jp